

2010年（平成22年）2月16日  
産経新聞より

若い人々の人間力向上を目指す「産経志塾」が第6回春季講座（3月25（27日）の塾生を募集します。

講師は拓殖大学の渡辺利夫学長、ジャーナリストの櫻井よしこ氏、作家の

## 「産経志塾」受講生募集

関川夏央氏です。昼食懇談会には元国連事務次長で国際文化会館理事長の明石康氏をお招きします。

アジアが専門の渡辺学長は「近現代史の中の日本とアジア」と題し、日本はいかなる条件の下で安全保障を守る

ことができ、またいかなる条件の下で悲劇的狀況に陥ったのか。日本の近現代史を振り返りながら日本の現在とあるべき将来像を探ります。

櫻井氏は最もタイムリーで関心深い時事問題を取り上げ、「この国の行方——日本のあるべき姿」を論じます。

関川氏の演題は「文学を読むとはどういうことか。——夏目漱石の初期作品に即して」。小説「坊っちゃん」や漱石と正岡子規との書簡などを教材に、文学の読み方、その歴史性、そして現代日本語書き言葉の成立などについてのヒントを提示します。

25面に募集要項

## 「産経志塾」の募集要項

「日本の未来を担う若い人材の育成を」と産経新聞は第6回「産経志塾」を開きます。政治、国際、社会、文化などについて一流の講師がとことん講義し、疑問に答えます。

募集要項は次の通り。

【日時・場所】3月25日（木）午後1時半～午後5時▽26日（金）午前11時半～午後5時▽27日（土）午後1時半～5時、産経新聞東京本社（東京・大手町）

【参加費】1万円（26日は昼食付き）

【参加資格】中・高・大学院生、または30歳までの社会人

【講師】25日は拓殖大学学長の渡辺利夫氏Ⅱ写真（右端）。26日はチャーナ

リストの櫻井よしこ氏Ⅱ同（右から2人目）、27日は作家の関川夏央氏Ⅱ同（右から3人目）Ⅱが講師を務めます。また26日は、元国連事務次長の明石康氏Ⅱ同（左端）Ⅱを囲み昼食会を行います

【定員】40人

【申し込み】郵便番号、住所、氏名、年齢、職業（学校名）、電話番号を明記し、〒100-8077

ウェーブ産経「産経志塾」係。はがきまたはFA X（03・3279・6342）で。「ウェーブ産経」ホームページ（http://www.sankei.co.jp/wave/）からも申し込みます。40人には詳しいご案内を送付します。問い合わせは☎03・3275・8134

【協賛】スルガ銀行 自立の思想研究所